2026年11月11日

各　　位

会　社　名　ヒーハイスト株式会社
代表者名　代表取締役社長　尾崎　浩太
（証券コード：6433、東証スタンダード）
問合せ先　常務取締役執行役員管理部長 佐々木宏行
（TEL.049－273－7000）

新中期経営計画「Hephaist Vision 2030」の策定に関するお知らせ

当社は、収益性向上と成長基盤の再構築を目的とし、2027年3月期から2030年3月期までの3か年を対象とした新中期経営計画「Hephaist Vision 2030」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

新中期経営計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

HEPHAIST

新中期経営計画

2027年3月期（第65期）～ 2030年3月期（第68期）

FY2026　　FY2029

Hephaist Vision 2030

「収益性向上」と「成長基盤の再構築」

ヒーハイスト株式会社
東証スタンダード（証券コード：6433）

2026.11.11

目次

１．中期経営計画 Hephaist Vision 65 (2027) の振り返り

２．新経営ビジョン2030

３．新中期経営計画 Hephaist Vision 2030

目次

1．中期経営計画 Hephaist Vision 65 (2027) の振り返り

2．新経営ビジョン2030

3．新中期経営計画 Hephaist Vision 2030

中期経営計画 Hephaist Vision 65 (2027) の振り返り

全社業績の推移

<単位：百万円>

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
連結売上高	2,310	2,245	1,636
連結営業利益	△158	△121	△262
連結経常利益	△156	△189	△299
連結当期純利益	△221	△203	△718

2025年3月期は、売上高が減少するも、コスト削減等により営業損失は縮小
2026年3月期は、直動機器と精密部品加工の大幅な売上高減少により、営業損失が拡大
3年間を通じて、需要落ち込みによる売上高減少に対し、収益を確保できなかったことが最大の課題

中期経営計画 Hephaist Vision 65 (2027) の振り返り

次期３ヶ年 新中期経営計画
Hephaist Vision 2030 作成の必要性

中期経営計画 Hephaist Vision 65 (2027)

実行から見えた課題

➢ 需要低迷時の収益性
- ー生産キャパシティの余剰
- ー設備投資後の固定費増
- ー低採算品の存在

➢ 事業構成の偏り
- ー成長領域への展開不足

▶

新中期経営計画 Hephaist Vision 2030

➢ 主要事業の需要変動に左右されない
収益構造と事業構成への再構築

➢ その実現に向けた新経営ビジョンの策定と
中期経営計画の着実な実行

目次

1．中期経営計画 Hephaist Vision 65 (2027) の振り返り

2．新経営ビジョン2030

3．新中期経営計画 Hephaist Vision 2030

新経営ビジョン2030



- **前中期経営計画で、主要事業の需要低迷時に収益を確保できない事業構造の弱さが明らかに**
- **新たなビジョンを揺るがない核とし、事業変革を計画的に進めることで、市場の変化に強い企業を目指す**

「自ら技術と人をつなぎ」

➢能動性：受動的ではなく、自ら社会・事業環境の変化を捉え、主体的に動いていくこと

➢技術と人の橋渡し：積み重ねてきた我々の技術を、必要としている人々や社会に届ける

「世界のステージへ」

➢これまでの事業領域や商品群、ビジネスモデルを超えた、新たな世界へ進んでいく

➢日本のみならず、世界で通用する社会的価値を創り出す

目次

1．中期経営計画 Hephaist Vision 65 (2027) の振り返り

2．新経営ビジョン2030

3．新中期経営計画 Hephaist Vision 2030

新中期経営計画 Hephaist Vision 2030

成長戦略

新中期経営計画 Hephaist Vision 2030にて
「STEP1 収益力再構築」から「STEP2 既存技術の多面展開」まで進行



中期経営計画
Hephaist Vision 65 (2027)

STEP 0
設備増強と市場シェア拡大

- 設備増強で直動機器の増産増販
- 精密部品加工の売上確保
- ユニット製品の販路拡大

新中期経営計画
Hephaist Vision 2030

STEP 1｜短期
収益力の再構築と黒字転換

- 直動機器・精密部品加工事業の受注回復
- 減損実施後の固定費圧縮による収益性改善
- 機械稼働率向上・生産性改善による黒字化の実現
- 財務基盤・キャッシュフロー安定化

STEP 2｜中長期
既存技術の多面展開

- 高精度位置決め技術を活用したユニット製品拡販
- 半導体製造装置・産業機械向け販売強化
- 特定顧客依存からの脱却、海外展開及びアライアンス強化による事業基盤拡大
- 既存技術を活用した新たなジョイント製品で新規顧客開拓

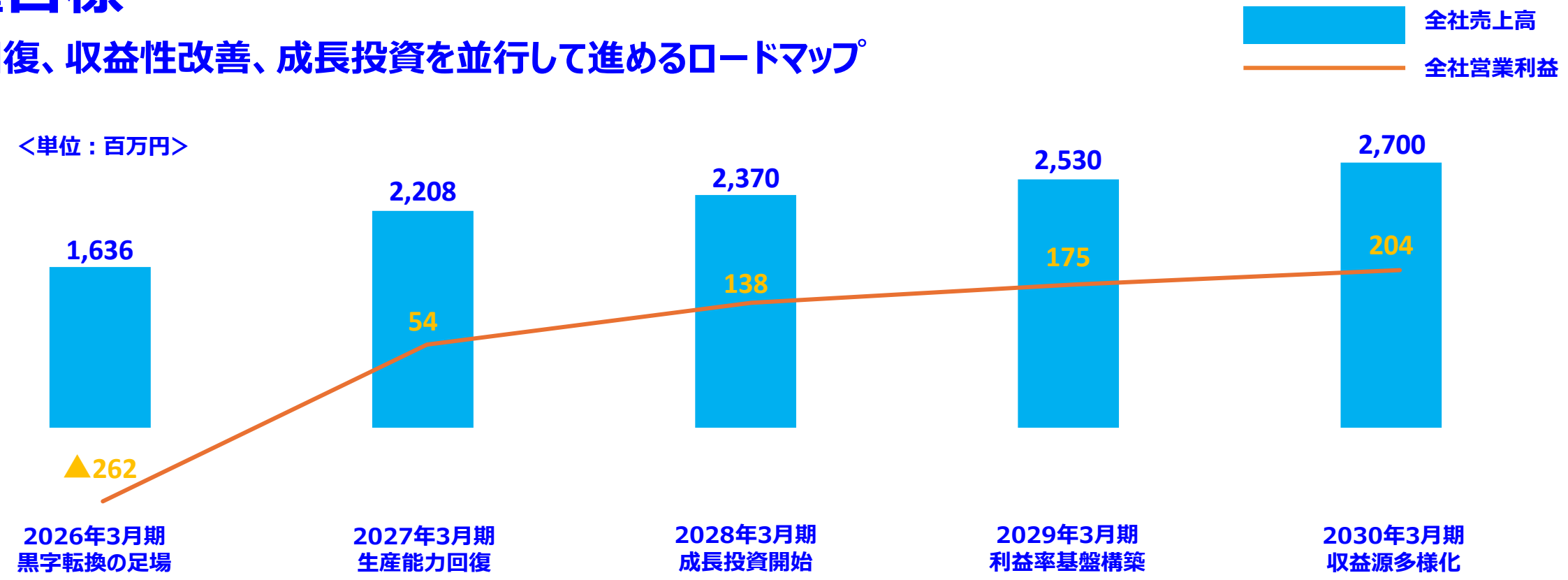
STEP 3｜長期
新たな収益の柱の構築
「Joint・RobotのHEPHAIST」の実現

- ヒューマノイドロボット向け関節・ジョイント分野への参入
- 球面加工技術・直動技術・精密加工技術の融合
- フィジカルAI市場拡大を捉え、新たな収益の柱の構築

新中期経営計画 Hephaist Vision 2030

定量目標

売上回復、収益性改善、成長投資を並行して進めるロードマップ



- 2026年3月期の売上高・営業利益を底として、2027年3月期以降は段階的な回復
- 2030年3月期に向けて、収益性改善と収益源多様化を推進し、営業利益率は7.6%まで向上
- 毎月の実績・出来高・在庫・受注残に基づき、月次でローリングして管理することで、確実な達成を目指す

新中期経営計画 Hephaist Vision 2030

サステナビリティ

**当社は、企業理念である「義の心」に基づき、「価値の創造」に努めて参りました。
この事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献し、持続的成長及び次世代への成長基盤を構築していくことが、当社の企業価値向上に不可欠であると判断し、これからも優先的に実施して参ります。**

ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）への貢献

- 持続可能な開発目標への貢献を意識した事業活動に取り組んでおり、埼玉県と秋田県で「ＳＤＧｓパートナー」として登録されております。
- フードバンクやこども食堂、フードパントリー等に寄付をするフードドライブ事業に協力しております。
- 当社と縁が深いベトナム社会主義共和国のソンハ地域開発プログラムを通じ、貧困に苦しむ子どもたちの成長の支援しております。
- サプライチェーンや価値創造を図る事業者との連携と共存共栄を進めるため、「パートナーシップ構築宣言」を公表しております。

環境保全への取り組み

- サステナビリティ事務局を設置し、環境マネジメントシステム「エコアクション２１」を導入、運用しております。
- 本社・埼玉工場のＡ棟建屋等に太陽光発電設備を設置し、2023年12月11日から発電を開始しております。
- マテリアルリサイクルが困難な古紙や廃プラスチックを、化石燃料代替の固形燃料として再利用する取り組みに協力しております。
- 卵の殻を配合したエコペーパーを使用した名刺を導入しております。
- 機密書類回収ボックスを導入し、トイレットペーパーとタオルペーパーとして再利用しております。

職場環境の整備・エンゲージメントの向上

- 仕事と家庭の両立支援、国籍・人種・性別等を問わない人材活用、長期的に働ける職場環境整備に積極的に取り組んでおり、埼玉県の多様な働き方実践企業におけるプラチナランクの認定を受けております。
- 健康保険組合と協力して健康企業宣言を行い、健康経営健康づくりの取組みを積極的に行っております。
  また、従業員の健康づくり推進に積極的に取り組んでおり、「埼玉県健康経営実践事業所」と「秋田県版健康経営優良法人」に認定されております。
- 従業員への育児短時間勤務制度、奨学金返還支援制度、社員持株会への奨励金制度を導入しております。
- 外国籍の技能実習生が当社で経験を積み、多くの技能実習生が特定技能（1号・2号）へステップアップしております。